

スプリング8など施設公開

最先端科学
5900人学ぶ

佐用

研究員ら実験内容解説

と知って驚きました」と話していた。

(西竹唯太朗)



多くの家族連れでにぎわったスプリング8
＝佐用町光都

佐用町光都の大型放射光施設「スプリング8」と、併設されるエックス線自由電子レザー施設「SACLA(さくら)」で1日、施設の公開イベントがあった。親子連れら約5900人が訪れ、最先端の科学技術に触れた。

理化学研究所が開催し、今年で24回目。

両施設では、電子を光速近くまで加速させると発生する放射光を用い、物質を原子レベルで観察。医療や工業などさまざまな分

野の研究に役立てている。

今回は、1周約1・5キロあるスプリング8の約60カ所の全実験室を初めて一般公開。研究員による実験内容の解説もあり、小惑星探査機「はやぶさ」が宇宙から持ち帰った微小粒子を分析した結果、鉱石の構成が地球にはないものと分かったことなどが紹介された。

姫路市青山から参加した会社員山本孝司さん(30)は「この技術が世界で活躍している